



心にしみた「愛情弁当」

校長 井之上 良一

今月は、6月4日（金）に「ひおき学フィールドワーク」と「弁当の日」の活動を、6月21日（月）に「アジサイ植栽」と「地域花いっぱい活動」を実施することができました。いずれも保護者や地域の皆様方の御理解や御協力なしには成り立たない活動です。温かい御支援のお陰で、生徒たちにとって充実した貴重な経験ができましたことを大変有り難く思っております。

さて、今回は弁当のことや家庭での教育の在り方を考える材料にしていたらばと考え、あるお母さんの手作り弁当にまつわる話を紹介したいと思います。それは次のような話です。

中学三年生になったS子という娘さんがいました。日曜日に、友人に誘われるままに、映画を見に行ったのを「親に黙って不届きだ」と、父親にひどく叱責されました。翌朝、S子は家出をしました。一度叱られたぐらいで、反抗期にあるとはいえ、家出などめったにできるものではありません。この父親は、かなり横暴で、日頃からこうした威圧的な態度に出がちでした。それが積もり積もって堪忍袋の緒が切れ、こうした行動に出てしまったらしいのです。朝学校に行くと言って、いつものように学用品と弁当を持って家を出ました。そして、日頃蓄えていた小遣い銭もしのぼせて。

かつて親しくしていた学校の友達の一部が、家庭の事情で転校し、今大阪に住んでいます。折に触れて音信を交わしていたその親友を思い出し、東京駅から大阪行きの乗車券を買い求めました。

汽車は西へ西へと向かいます。大阪に着いてから身の振り方をどうつけるか、そこまで考える余裕もなく、半分夢中で車中の人となったのです。そのうち、昼になったので、周りの人たちは、駅弁を買ったり、用意してきた弁当を開いたりして、楽しげに箸を動かしています。



S子も母親の作ってくれた弁当の包みを解き、ふたを開けて箸を付けようとしたが、その動きを止め、じっと弁当を見つめているうちに、涙がぼろぼろと落ちてきました。

詰めてある惣菜が「ぶりの照り焼き」、「ほうれん草のおひたし」、「らっきょう」、どれも自分の好物ばかりです。子どもは、何が食べたいとせがんで作ってもらうのも喜ぶますが、何も言わないのに好みを察して作ってくると一層嬉しいものです。母親にはこうした情味のこもった細かい心づかいがあり、わが子の嗜好をよく知っていたのです。

「お母さんは、こんなにまで自分のことを思ってくれている。その母に黙って、家を飛び出してきてしまった。日が暮れても家に帰らなかったら、その母がどんなに驚くことだろう。そして、どんなに悲しむことだろう。」

こう考えたら、食べるどころか、胸がいっぱいです。涙を拭いて、弁当のふたをすると、次の駅で降り、反対の上りの汽車に乗りかえました。

（この話は知り合いの先生に教えていただいたものです。作者名等不詳です。）



このお母さんは、この日に限って、特に気をつけて弁当を作ったわけではないと思います。毎日毎日、弁当のメニューをあれこれ考え、娘さんが喜んでくれるようにと一生懸命だったのではないかと推察されます。そんなお母さんだったからこそ、弁当のすみずみにまでしみ渡っていた愛情の力でこの娘さんを無事家に連れ戻すことができたのではないのでしょうか。

子育ては、社会環境が大きく変化する中でますます難しくなっています。また、中学生の時期は、心身の発達がアンバランスで心理的に不安定な時期でもあります。それだけに、子どもへの接し方に苦慮することも多く、子育ての悩みは尽きません。

しかし、ある教育相談員の方が「子育てとは下手だけど一生懸命するもの」と言っておられましたが、決して完璧な親である必要はなく、明るく元気な家庭を目指す中に懸命に子どもを思う姿があればそれで十分なのではないのでしょうか。



生徒が作った力作弁当(6/4)

(絵本が好きなお母さんのための弁当)

ひおき学フィールドワーク・弁当の日 6/4

日置市の史跡や自然などについて現地学習する「ひおき学フィールドワーク」を実施しました。今回は吹上・日吉方面を巡り、大汝牟遅神社や千本楠、日置市吹上歴史民俗資料館、小正醸造を訪れました。市観光ガイドの前田さんに説明をいただきながら、学習を深めることができました。あいにくの天気でしたが、大汝牟遅神社のご神木や千本楠の雄大さに触れ、歴史民俗資料館では日進公をはじめとする先人の功績を改めて知り、また、小正醸造では細心の衛生管理の下、焼酎が製造されている様子を見学し、郷土への愛着をさらに高めることにつながりました。昼食は、



日吉運動公園で自分で作った弁当を持参しての「弁当の日」。「〇〇のために作った弁当」というテーマに沿って、それぞれ工夫を凝らしたおいしそうなお弁当が披露されました。ALTのポールさんと国際交流員のヌルルフダさんも参加していただきました。2つの行事で大変中身の濃い充実した1日となりました。

避難訓練・引き渡し訓練 6/12

土曜授業で、地震を想定した避難訓練を実施しました。今回は、避難した後、体育館でDVDを視聴しました。地震発生時に注意すること、避難した後注意することなどを学習しました。最後に、昨年と同じように引き渡し訓練も実施できました。いつ何時起こるか分からない災害に備えてお互いに今後とも連携・協力できたらと思います。



地区団体の結果について(6/8～6/10)

男子ソフトテニスはいちき串木野市総合運動公園、女子ソフトテニスは伊集院総合運動公園、女子卓球個人戦はいちき串木野市総合体育館で行われました。残念ながら、ソフトテニス部の県大会出場はなりませんでしたが、卓球個人戦に出場した佐野心春さんは優勝して県大会出場を勝ち取りました。卓球の県大会個人戦は7月28日(水)同会場で行われる予定です。応援よろしくお祈りします。

日	曜	7月の主な行事予定
1	木	「おひさまあいさつ」の日 期末テスト(6/29～)
2	金	教育事務所学校訪問 租税教室(家庭教育学級)
9	金	学級専門部会
10	土	土曜授業(学校保健委員会、学級PTA)
12	月	学校専門部会
13	火	代議員会
16	金	救命救急講習会(家庭教育学級)
20	火	終業式 大掃除 地域生徒会 PTA小中合同校外補導(18時～校区内)
22	木	🔴 海の日
23	金	🔴 スポーツの日
29	木	三者面談(3年生・保護者 ～30日)

高校説明会 6/17・22

鹿児島市内や近隣の高等学校のご協力をいただき、2・3年生を対象に高校説明会を開催しました。3年生の進路希望を考慮して説明を依頼し、6月17日は公立の7校、22日は私立の7校をお招きしました。



15分という短い時間でしたが、各校の特色や学科の特徴、卒業後の進路など映像等を交えて丁寧に説明していただきました。3年生にとっては、進路選択を具体的にしていく時期に入ってきており、真剣な表情で説明に聞き入っていました。また、2年生は、上級学校の学習を始めた段階ですが、メモをとりながら高校についての理解を深めようとする姿が見られ、2学期の高校訪問に繋がる学習ができた様子でした。

夏休みや2学期には、各校で体験入学等も実施されます。積極的に参加して、各校の雰囲気や教育環境など実際に体験を通して得られる情報を集めてみましょう。

SOSの出し方教室 5/14

先月のこととなりますが、「SOSの出し方教室」を実施しました。市役所健康保険課の4名の方々に、授業をしていただきました。

子どもたちは、自分の心が「傷ついた」「つらい」と感じたときに、自分から信頼できる大人にSOSを出すことができるようにという目標でこの学習を受けました。



授業では、つらいときには信頼できる大人に相談すること、自分の強みや好きなことを活かしてストレスに対処すること、お互いを傷つけ合わないための方法、自分を大切にすることなどを学びました。

生徒の感想

- 「今回の授業を受けて、これからは自分一人だけで解決しようとせず周りの人に助けを求めたいと思いました。」
- 「もし困っている人がいたら進んで助けてあげられるようになりたいです。」
- 「多くの人に支えられているんだなと感じました。アサーティブな対応を今後心がけたいと思います。」
- 「この教室で、さらに困ったときはどうすれば良いか分かりました。」
- 「何でも一人で抱え込まないで何かあったら人に相談することが必要だと思います。」

日置市では、若年層、特に20歳未満の自殺者数の割合が男女とも全国に比べて大変高く、昨年度から「SOSの出し方教育」が実施されています。

子どもたちだけでなく、私たち大人も学習する必要があります。子どもたちから相談があった場合の対応については喫緊の課題です。

小学校PTAと連携し、夏休みの保護者セミナー等でこの「SOSの出し方教育」を学習していく予定ですのでその際は御参加のほどよろしくお祈りいたします。